

(資料)

大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業補助金交付要綱

(目的)

第1条 大阪府は、大阪府が所管する事業老人ホーム、特別養護老人ホーム、経費老人ホーム及び老人保健施設(以下「老人福祉施設等」という。)において、入所者にインフルエンザワクチンの接種を行う事業者に対し、大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業補助金(以下「補助金」という。)を交付するものとし、その交付については、大阪府補助金交付規則(昭和45年大阪府規則第85号。以下「規則」という。)に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(補助事業等)

第2条 補助の対象となる事業は、大阪府が所管する老人福祉施設等が入所者に対して行うインフルエンザワクチン接種とする。

2 補助金の科目、基準額、対象経費及び補助率は、別表のとおりとする。

(補助額)

第3条 補助金の額は、別表の第1欄に定める基準額と第2欄に定める対象経費の実支出額の合計額を比較して少ない方の額に第3欄に定める補助率を乗じて得た額とする。なお、1,000円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てるものとする。

(補助金の交付の申請)

第4条 規則第4条第1項の申請は、大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業補助金交付申請書(様式第1号)により知事に提出するものとする。

2 前項の申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。

(1)事業所要額内訳書(別紙1)

(2)事業計画書(別紙2)

3 第1項の申請書は、毎年度知事が定める日までに提出しなければならない。

(経費配分の経緯な変更等)

第5条 規則第6条第1項第1号の知事の定める経緯な変更は、補助事業に要する経費の各種目相互間の変更をする場合で、それぞれの配分額のいずれか低い方の額の20パーセント以内とする。

ただし、それぞれの配分額のいずれか低い方の額が千円未満の場合は除く。

(規則第6条第2項の規定による条件)

第6条 老人福祉施設等は、事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿及び当該収入及び支出について証拠書類を整理し、かつ、当該帳簿及び証拠書類を事業完了後5年間保管しておかなければならない。

(交付の決定及び通知)

第7条 知事は、補助金の申請があったときは、当該申請に係る書類等に基づき、補助事業の内容が適切であるかどうかを審査し、補助金を交付することが適当であると認めたと

ときは、速やかに補助金の交付の決定をするものとする。
2 知事は、補助金の交付の決定をしたときは、交付決定額、交付条件及びその他必要な事項を通知するものとする。

(実績報告)

第8条 規則第12条の規定による報告は、大阪府老人福祉施設等インフルエンザ接種促進事業補助金実績報告書(様式第2号)により、事業完了後1か月以内又は当該会計年度の翌年度の4月30日までに知事に提出しなければならない。

2 規則第12条に定める書類は、次に掲げる書類とする。

(1)事業所要額内訳書(別紙3)

(2)事業実績報告書(別紙4)

(3)事業実施結果(別紙5)

(4)接種者一覧表

(書類等の審査)

第9条 知事は、補助金の適正な執行を図るため、必要と認めるときは、補助事業者に対して報告又は関係書類の提出を求め、あるいは帳簿等を検査することができる。

(補助金の交付)

第10条 知事は、規則第13条の規定による補助金の額の確定後、当該補助金を交付する。

附 則

(施行期日等)

1 この要綱は、平成10年10月1日から施行する。

別 表

大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業補助金交付基準表

1 基 準 額	2 対 象 経 費	3 補 助 率
接種者1人(2回接種)につき 4,000円	インフルエンザワクチン接種の実施に必要な費用(消費税需用費等)、委託料及び負担金とする。	1 — 2

ただし、接種回数が1回のみ
の場合は、2,000円

* 現行では特別養護、養護老人ホーム(措置施設)については他(残り)1/2は施設が負担し、老人保健施設等契約施設については、他1/2は施設又は本人負担となっている。

様式第1号

第 年 月 日 号

大阪府知事 様

所在地

法人名及び代表者名

TEL

印

大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業補助金交付申請書

平成 年度において、大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業費補助金を次のとおり受けたいので、大阪府補助金交付規則第4条第1項の規定により申請します。

- 1 申 請 額 金 円
- 2 事業所要額内訳書 (別紙1)
- 3 事業計画書 (別紙2)
- 4 添付書類
 - (1) 法人定款・役員名簿
 - (2) 事業経費の積算に係る証拠書類

別紙1

大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業所要額内訳

施設名

1 所要額内訳

区 分	事業費 (A)	基準額 (B)	府補助基本額 (A) 及 (B) のいずれか少ない額 (C)	府補助所要額 (C) × 1/2 (D)	交付決定額 (E)
インフルエンザワクチン接種普及事業	円	円	円	円	円

※ (D) の欄には 1,000円未満を処理した数字を記入すること。

2 大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業経費別内訳

区 分	事業予定額 (1の(A) 費の内訳)			基準額 (1の(B) 額の内訳)
	費 目	金 額	合 計	単価 × 員数 = 金額
インフルエンザワクチン接種普及事業		円	円	円
				¥ 4,000 × 人 = ¥ 2,000 × 人 =

別紙2

大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業計画書

1. 事業の目的

施設入所者にワクチンの接種を行うことにより、インフルエンザの予防を行う。

2. 施設の概要

項 目	概 要
①施設名	
②所在地	
③施設の管理者名	
④入所者数	
⑤痴呆症高齢者数(内数)	

3. 実施予定者数

人

4. 実施予定日

第1回目 平成 年 月 日
第2回目 平成 年 月 日

5. 実施予定医療機関名

大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業収支予算(見込書) 抄本

1. 収入の部

区 分	予 定 額	積 算 内 訳
大阪府助成金	円	
施設負担金		
徴収金		
合 計		

2. 支出の部

区 分	予 定 額	積 算 内 訳
合 計	円	

平成 年 月 日

法人名
代表者名

印

様式第2号

大阪府知事 様

第 年 月 日 号

所在地
法人名及び代表者名

TEL

印

大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及及事業補助金実績報告書

大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及及事業補助金交付要綱第8条の規定により、次のとおり報告します。

- 1 精 算 額 金 円
 - 2 事業精算額内訳書 (別紙3)
 - 3 事業実績報告書 (別紙4)
 - 4 事業実施結果 (別紙5)
 - 5 接種者一覧表 (別紙6)
- 添付書類
- (1) 歳入歳出決算書抄本
 - (2) その他参考となる資料

別紙3

大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業精算額内訳書

施設名 _____

1 精算額内訳書

区 分	事 業 費 (A)	基 準 額 (B)	通 定 額 (A) or (B) の いずれか少ない額 (C)	補 助 金 所 要 額 (C) × 1/2 (D)	補 助 金 受 入 額 (E)	差 引 過 不 足 額 (F)
インフルエンザワクチン接種普及事業	円	円	円	円	円	円

※ (D) の欄には、1,000円未満を処理した数字を記入すること。

2 大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業経費別内訳

区 分	経費支出済額 (1の(A)欄の内訳)			基準額 (1の(B)欄の内訳)
	買 目	金 額	合 計	単価×員数=金額
インフルエンザワクチン接種普及事業		円	円	円 (内訳) 84,000 × 人 = 82,000 × 人 =

別紙 4

大府府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業実施報告書

1. 事業の目的
施設入所者にワクチンの接種を行うことにより、インフルエンザの予防を行う。

2. 施設の概要

項目	概 要
①施設名	
②所在地	
③施設の管理者名	
④入所者数	
⑤痴呆性高齢者数(内数)	

3. 実施者数

人
 { 内訳 2回接種者 }
 1回接種者 }
 人

4. 実施日

第1回目 平成 年 月 日
 第2回目 平成 年 月 日

5. 実施医療機関名

別紙 5

大府府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業実施結果

記入名

実施方法 (if the school)	1. 施設の医師が実施 2. 協力病院等の医師が実施 3. 協力病院等へ委託 4. その他 ()
接種医師 名前	所属医療機関名
実施場所	施設名 所在地
事業実施開始 期 点	
事業実施 効果 果	
その他	

別紙6

大阪府老人福祉施設等インフルエンザ接種普及事業実施者一覧

施設名

NO. 1

番号	名前	生年月日	入所日	施設名	施設NO.	備考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

※1. 番号は、順番とし、欠番を設けないこと
 ※2. コンピュータ帳票等をもって上記一覧に代替することも可

大阪府老人福祉施設等インフルエンザワクチン接種普及事業収支決算(見込書)抄本

1. 収入の部

区分	予定額	換算内訳
大阪府助成金	円	
施設負担金		
徴収金		
合計		

2. 支出の部

区分	予定額	換算内訳
合計	円	

平成 年 月 日

法人名
代表者名

印

インフルエンザワクチン調査票 (施設用)

施設名		
住所	①	
電話番号	FAX番号	
担当者名		
ワクチン1回目接種時入所者数		
ワクチン1回目接種者数		
ワクチン2回目接種時入所者数		
ワクチン2回目接種者数		
ワクチン製造会社名 Lot No.		

インフルエンザ予防接種予診票

氏名	接種日	年	月	日	診察前の体温	・C
----	-----	---	---	---	--------	----

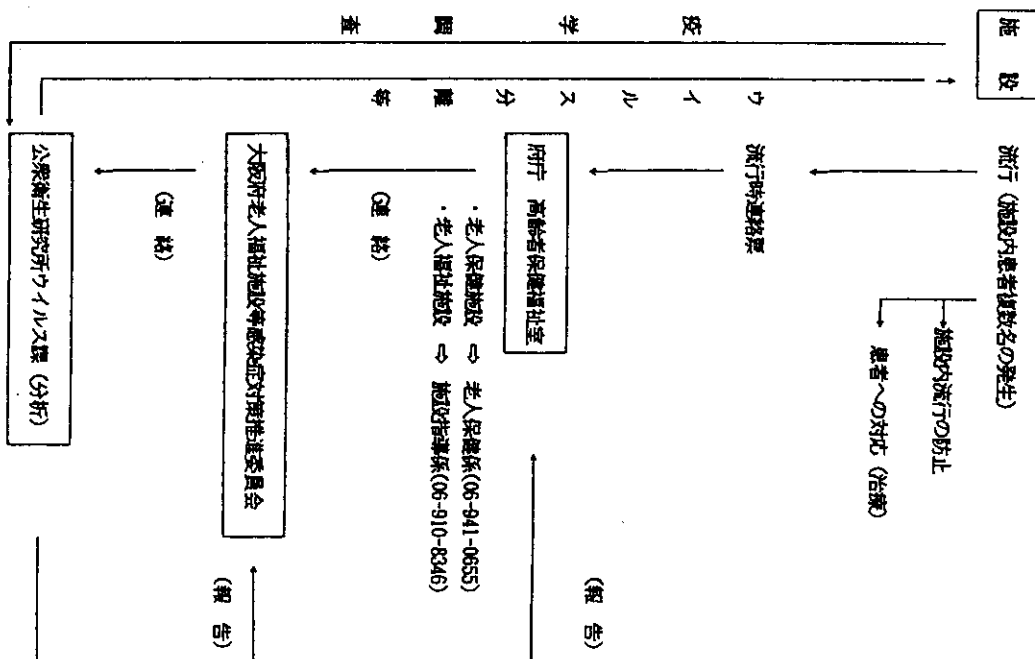
質問事項	回答欄	医師記入欄
今日、受ける予防接種について説明を受け、理解しましたか。	はい いいえ	
今日、体の具合の悪いところがありますか、 あれば具合の悪い症状を書いてください。 ()	はい いいえ	
最近1か月以内に病気にかかりましたか。 (病名 ())	はい いいえ	
心臓疾患、呼吸器疾患、糖尿病、高血圧、その他の疾患のある人は、その病気を診てもらっている医師に、今日予防接種を受けてよいと言われましたか。	はい いいえ	
卵やカステラ、ゼラチン等を多く含む食品にじんましんがでたり、体の具合が悪くなったことがありますか。	はい いいえ	
これまでに、インフルエンザや他のワクチンによる予防接種を受けて具合が悪くなったことがありますか。	はい いいえ	
今日の予防接種について質問がありますか。	はい いいえ	
本人の同意 家族の同意	サインまたは印 サインまたは印	
(医師の記入欄) 以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は (可能 ・ 見合わせる) 医師のサインまたは印		
ワクチン：インフルエンザHAワクチン 製造会社名： Lot No.	接種量：0.5ml 接種部位：上腕 (右 ・ 左) 接種実施場所： 接種医師名：	

インフルエンザワクチン個人調査票

当てはまるものを丸で囲んで下さい。

氏名	性	男	女	生年月日	明・大・昭	年	月	日
生活自立度	健康	J	A	B	C			
基礎疾患	心疾患	呼吸器疾患	糖尿病	高血圧	脳血管疾患の狭心症	その他()		
ワクチン	接種した	1回目(月 日)	2回目(月 日)	非接種				
接種後の副反応(接種後3日間)	1回目接種後	37.5°C以上の発熱: なしあり (最高 日 目 °C) 発疹: なしあり 注射部位の強い腫れ: なしあり 注射部位の強い痛み: なしあり リンパ節の腫れ: なしあり その他の副反応()						
	2回目接種後	37.5°C以上の発熱: なしあり (最高 日 目 °C) 発疹: なしあり 注射部位の強い腫れ: なしあり 注射部位の強い痛み: なしあり リンパ節の腫れ: なしあり その他の副反応()						
非接種者の発熱	1回目と同時期	37.5°C以上の発熱: なしあり (最高 °C)						
	2回目と同時期	37.5°C以上の発熱: なしあり (最高 °C)						

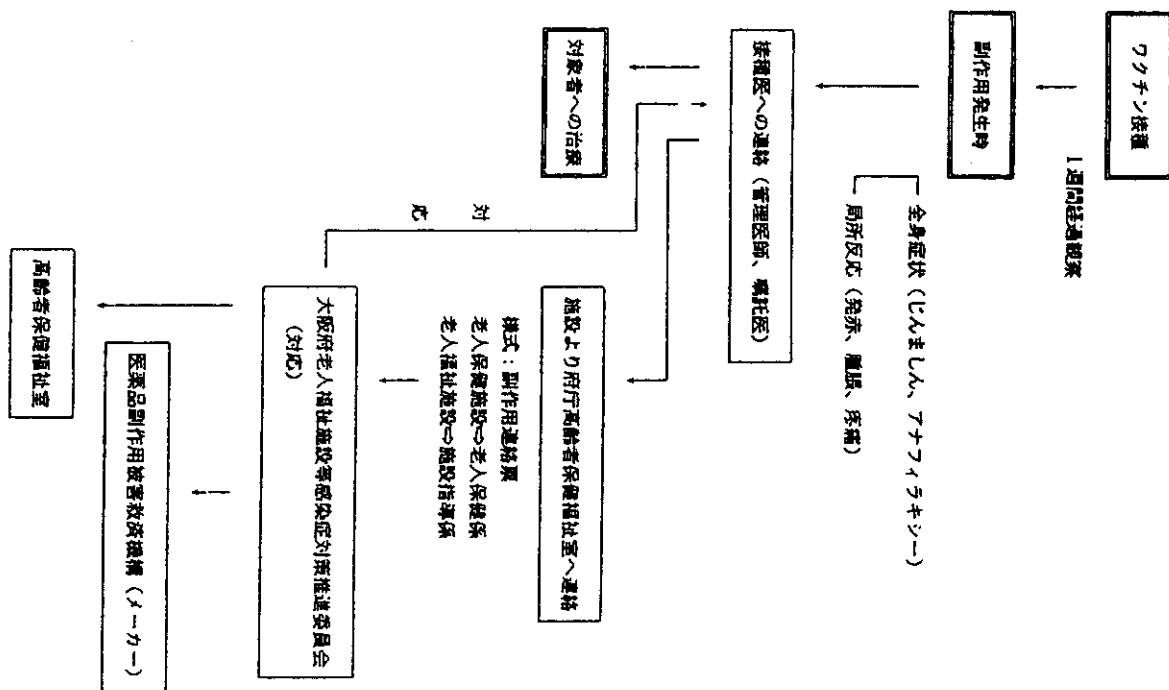
高齢者施設におけるインフルエンザ感染症流行時の対応



流行性時疫各票

施設名	報告者	日 時
【発生状況】		
患者性別・年齢・ワクチン接種の有無・症状・対応等		

副作用発生時の対応



副作用発生連絡票

英 名	
報告者(管理者)	
日 時	
管理医師・嘱託医名	連絡先
副作用発生状況	
氏 名 () 年 齢 () 性 別 ()	
ワクチン接種日時 ()	
ワクチン接種医 ()	
状況及び対応	
診断及び治療の医療機関	

※同診票のコピーを必ず添付すること

月分

インフルエンザ罹患状況把握票

平成 年 月 日現在

施設名	施設種別(特養 養護 軽度 重度 老老)	定員	人
記入者	施設コード等		

1. 「インフルエンザ」の状況
- 発生している (発生した時期 年 月 上旬・中旬・下旬)
 - 発生していない

2. 入所者の状況(1で発生している施設)

入 所 者 総 数	インフルエンザに罹患している者
内 施設内	人 (※1)
内 入居者数	人 (※2)
計	人

※1 施設内で現在インフルエンザにかかっている者の数
 ※2 インフルエンザが原因で入院している者の数

3. 平成10年11月からのインフルエンザ罹患状況

死 亡 者 数 総 数 _____ 人 (内ワクチン接種者数 人)
 内インフルエンザ罹患者数 _____ 人 (内ワクチン接種者数 人)

死亡年月日	死亡場所(※3)		性別・年齢	死亡時の病名	入院年月日	インフルエンザの罹患状況(※4)
	当施設数	病 院				

※3 該当する方に○印をつけること
 ※4 インフルエンザに罹患し、死亡に影響があったと考えられる者に○印をつけること

厚生科学特別事業
厚生科学研究費補助金分担研究報告書

インフルエンザの流行と
救急搬送需要に関する研究

平成 12 年 3 月

分担研究者 山口 和範 立教大学社会学部

研究協力者 中川 重和 倉敷芸術科学大学ソフトウェア学科
研究協力者 半谷 俊彦 明海大学経済学部非常勤講師
研究協力者 朝日 弓未 立教大学大学院社会学研究科
研究協力者 河野 康成 立教大学大学院社会学研究科

インフルエンザの流行と救急搬送需要に関する研究

分担研究者 山口和範 立教大学社会学部教授

研究要旨

インフルエンザは、人類が数千年前から経験してきた感染症であり、人類にとって最も身近な感染症の一つである。また、症状の程度によっては一般の風邪と混同されることもある。しかしながら、罹患した場合の症状の重篤性や肺炎などの合併症により一般の風邪とは全く異なる転帰をも迎えることもある。特に、A型インフルエンザにおいては、汎流行が数十年に一度発生し、海外を含め甚大な健康被害や社会活動への影響を引き起こしている。一方、このようなインフルエンザの流行による罹患者の増大が、救急搬送及び受け入れ体制に何らかの影響を与えているのではないかと予想されてきた。特に冬季の搬送需要が高いことはよく知られており、そこにインフルエンザの流行がどの程度の影響を及ぼしているかを探るために、本研究では過去数年間のインフルエンザ患者の発生状況と救急搬送需要に関する関連分析を行った。

A. 研究目的

本研究では、インフルエンザ大流行時における現状の救急搬送および受け入れ体制の問題点を明らかにし、その解決策を探ることを主目的とする。インフルエンザの大流行により様々な社会的問題が発生しており、その対策が厚生省をはじめとして様々な機関で施されてきている。本研究は、インフルエンザ流行時の救急搬送問題

に焦点をあてる。インフルエンザの大流行により、救急搬送が頻発し搬送体制や受け入れ態勢の麻痺（またはそれに近い状態）の発生可能性は必ずしも否定できるものではなく、その対策が講じられる必要がある、特に、近年新型インフルエンザウイルスの出現が必至であると状況を考えると、その必要性はいうまでもない。

本研究では、過去5年間の地域別のインフルエンザの発生状況と救急搬

送に関する諸統計との関連を検証し、インフルエンザの大流行時に問題が発生する可能性のある地域やその具体的問題を指摘することができる。

これまで、インフルエンザの発生ならびに罹患者に関するの統計は様々の努力のもと、充実している状況にあるが、これを救急隊員の活動状況とを併せて分析した例はほとんどない。この研究では、特に、インフルエンザの発生状況が搬送と受け入れに関して与える影響を、時間および地域の2軸を同時に使って分析する点が特徴である。時間・地域両方の軸を同時に使って分析することで、より詳細な影響を評価する。このような影響やそれに基づく諸問題を明らかにすることで、今後のインフルエンザ大流行時の救急搬送体制のあり方への提言への一助としたい。

B. 研究方法

平成8年度からのインフルエンザの流行状況に関する統計と救急業務実施状況調べに基づく統計を基に下記のような観点で分析研究を行う。

1. インフルエンザの流行時期と地域の検証

まず、「インフルエンザ様疾患報告」によりインフルエンザの流行時期と地域特性を確認する。さらに、当該流行時期と地域における、インフルエンザ患者発生の密集性並びに地域拡散性等の検証を行う。

2. インフルエンザの流行時期、地域と救急搬送・受入れ需要の関連の検証

1. で特定された時期、地域における、救急告示医療機関数、救急隊数当たりの急病患者（呼吸器系）搬送件数、搬送人員を確認する。さらに、当該時期、地域における、その流行の程度（インフルエンザ患者発生件数、患者発生の密集性、地域拡散性等）と急病（呼吸器系）による患者搬送需要（出場件数・搬送人員）、搬送時間、転送回数、転送者にかかる所要時間別搬送人員等の関連を検証する。これらの関連に加え、現場到着時間別急病の搬送件数、収容所要時間別搬送人員現場到着平均所要時間、収容平均所要時間の分布を地域別に比較検討する

3. インフルエンザ流行と救急搬送・受入れ体制の問題点等の検討

上記検証結果に基づき、インフルエンザ大流行時における救急搬送・受入れ体制の問題点等を研究する。上記の関連分析においては、空間統計学の相関理論に基づき、時間と地域を軸としてインフルエンザの流行状況（罹患者数など）と救急業務（救急搬送の回数など）の関連を明らかにする。

C. 研究結果

C1. インフルエンザの流行時期と地域の特定

平成8年度から平成11年度(平成12年1月末まで)の厚生省保健医療局結核感染症課作成の「インフルエンザ様疾患発生報告」に基づき、インフルエンザの流行状況を都道府県別に調べた。

平成8年以降毎年10月に最初の患者が報告されている。毎年の傾向としては、その後2月のピークまで各地で患者が発生するとともに患者数も増大していく傾向にある。2月のピーク以降は、徐々に患者発生数も減少していきほとんどの都道府県で5月か6月には患者発生数が0を記録している。

都道府県別の特徴としては、北海道、東京都、大阪府において、人口一人あたりの患者数が多府県に比べ著しく多くなっている。逆に冬季に温暖な気候であると思われる徳島県、香川県、宮崎県、沖縄県などでは他都道府県に比べ極端に小さな数字となっている。なお、長野県も上記4県と似たような数字になっているが、その理由は明確ではない。

詳細は資料編の資料1および2を参照のこと。

C2. 救急搬送に関する統計の特徴

平成7年1月より平成11年12月までの5年間の救急搬送に関する

データから救急搬送の実態を検証した。具体的には、消防庁実施の「救急業務実施状況調」に基づいたデータを使用した。

月別に集計されたデータを基に都道府県別の救急搬送の実態を調べた。救急搬送全体の件数と、事故種別が急病である場合の搬送件数をグラフ化した資料が、資料3である。

全体の搬送件数は、全国的にこの5年間、増加傾向にある一方、夏季(7月、8月)や冬季(12月、1月)に増加するという季節性が現れている。このような季節性は変動の大小はあるもののどの都道府県においてもほぼ同様のものがみられる。

一方、急病の搬送件数においても、同様のトレンドと季節変動がみられるが、夏季にくらべ冬季の増加が明らかに大きくなっており、インフルエンザなど冬季特有の疾病の影響が予想される。

C3. インフルエンザの流行と救急搬送需要の関連分析

ここでは、インフルエンザの流行と救急搬送の需要の関連分析を行った。具体的には、搬送件数を目的変数として、インフルエンザの患者数を説明変数とした回帰モデルを考える。なお、それぞれ都道府県の実況や、季節変動を考慮する必要があるため、都道府県に関するダミー変数と月に関するダミー変数をモデルに追加する。

回帰分析の結果の詳細は資料4に

掲載されている。

急病事例の搬送件数を目的変数とした場合には、インフルエンザの患者数の影響は必ずしも有意とはいえないまでも、搬送件数を増加させる傾向にあることが示された。

D. 補足

今回の分析において、基本的な時間単位が月となっている。これは救急搬送のデータが月単位でしか手に入らなかったためである。そのために、研究計画時に立てていた分析の一部が実行できなかった。今後、少なくとも週単位でのデータの整備が望まれる。

資料編目次

資料 1 :

インフルエンザの発生状況 -----	265
-----------------------	-----

資料 2 :

月別インフルエンザ患者数 -----	293
-----------------------	-----

資料 3 :

救急搬送に関するデータ -----	296
----------------------	-----

資料 4 :

インフルエンザの流行と救急搬送 需要の関連 -----	321
-----------------------------------	-----

資料1 インフルエンザの発生状況

平成8年10月から平成12年1月までの都道府県別インフルエンザ発生状況を、厚生省保健医療局結核感染症課による「インフルエンザ様疾患発生報告」に基づいて以下のようなグラフを作成した。

(1)患者発生状況(上図)

インフルエンザが発生しなかった場合を無地とし、発生した場合を黒地とした。

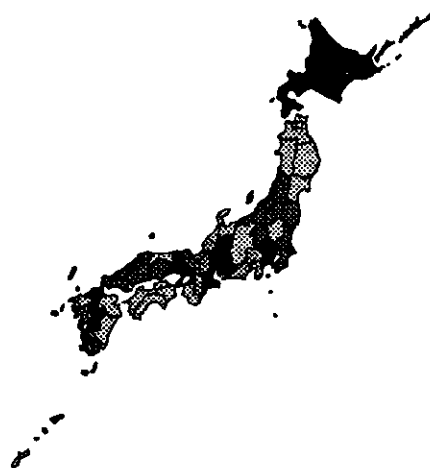
例



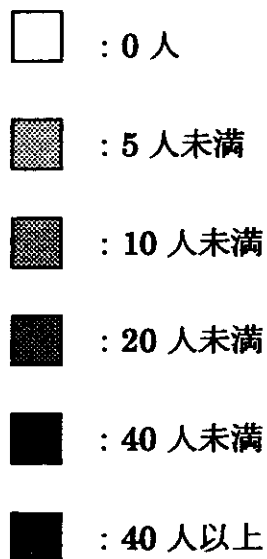
この図は、北海道と和歌山県でインフルエンザが発生したことを示している。

(2)患者数(下図)

人口一万人あたりの月間インフルエンザ患者数を下記の人数区分に従って示した。

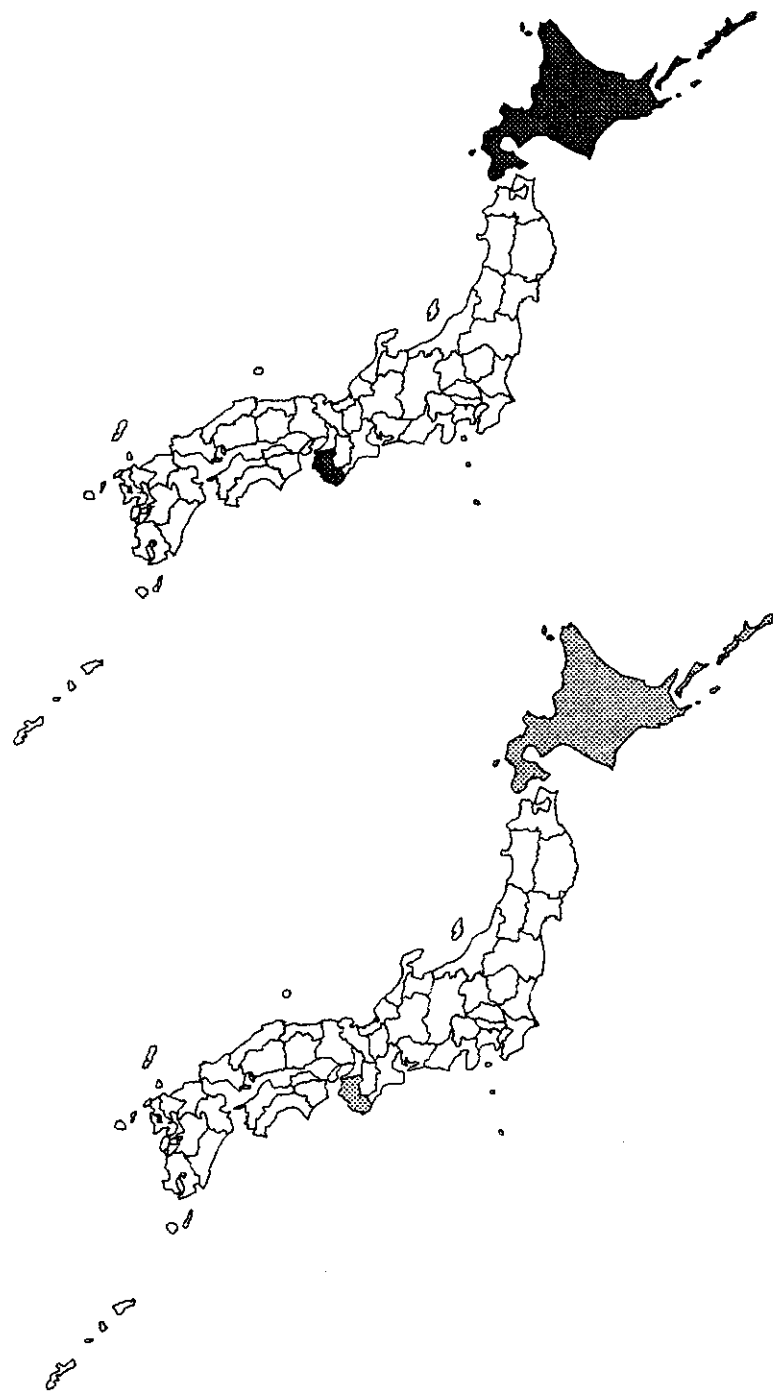


凡例：人口一万人あたりの患者数

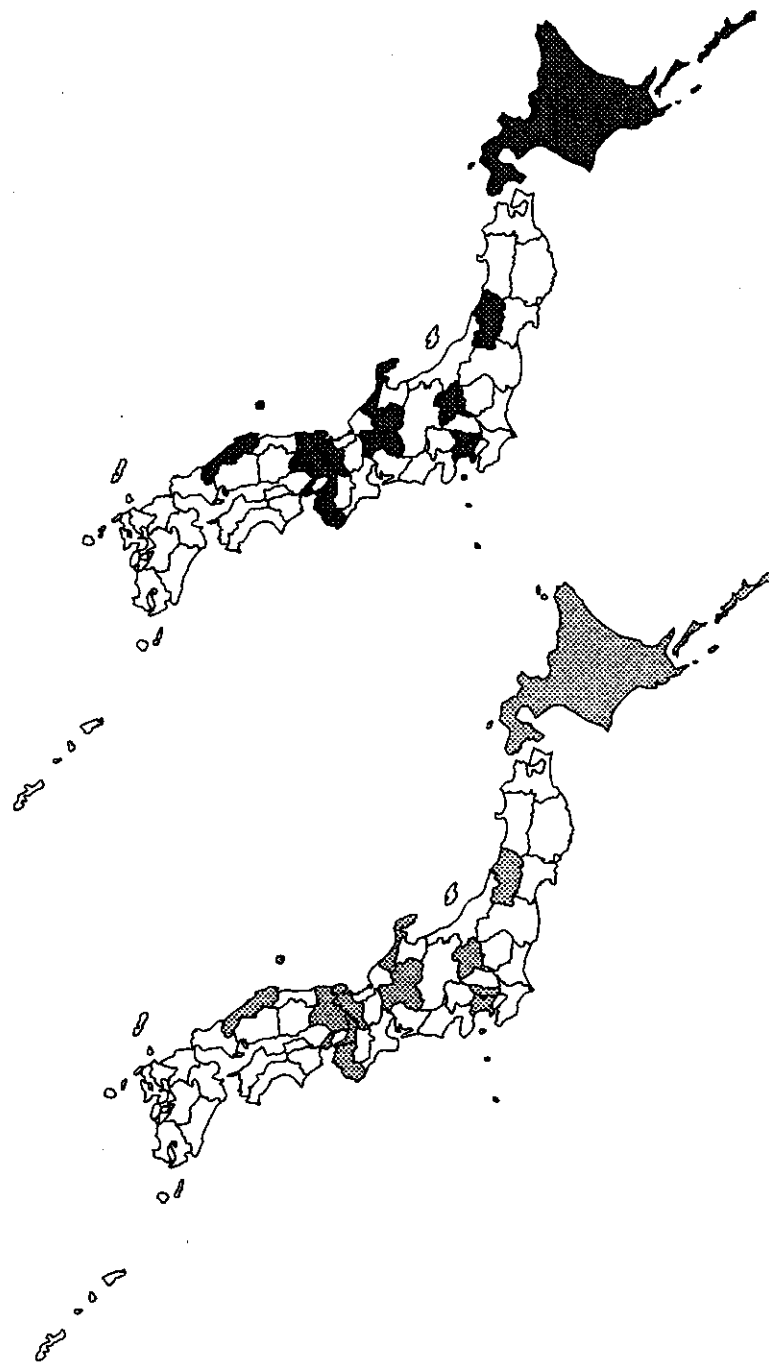


この図において、たとえば、東京都は人口一万人あたりの患者発生数が40人以上、北海道は20人以上40人未満、青森県は10人以上20人未満、新潟県は5人以上10人未満、静岡県は5人未満のカテゴリに属することを示している。

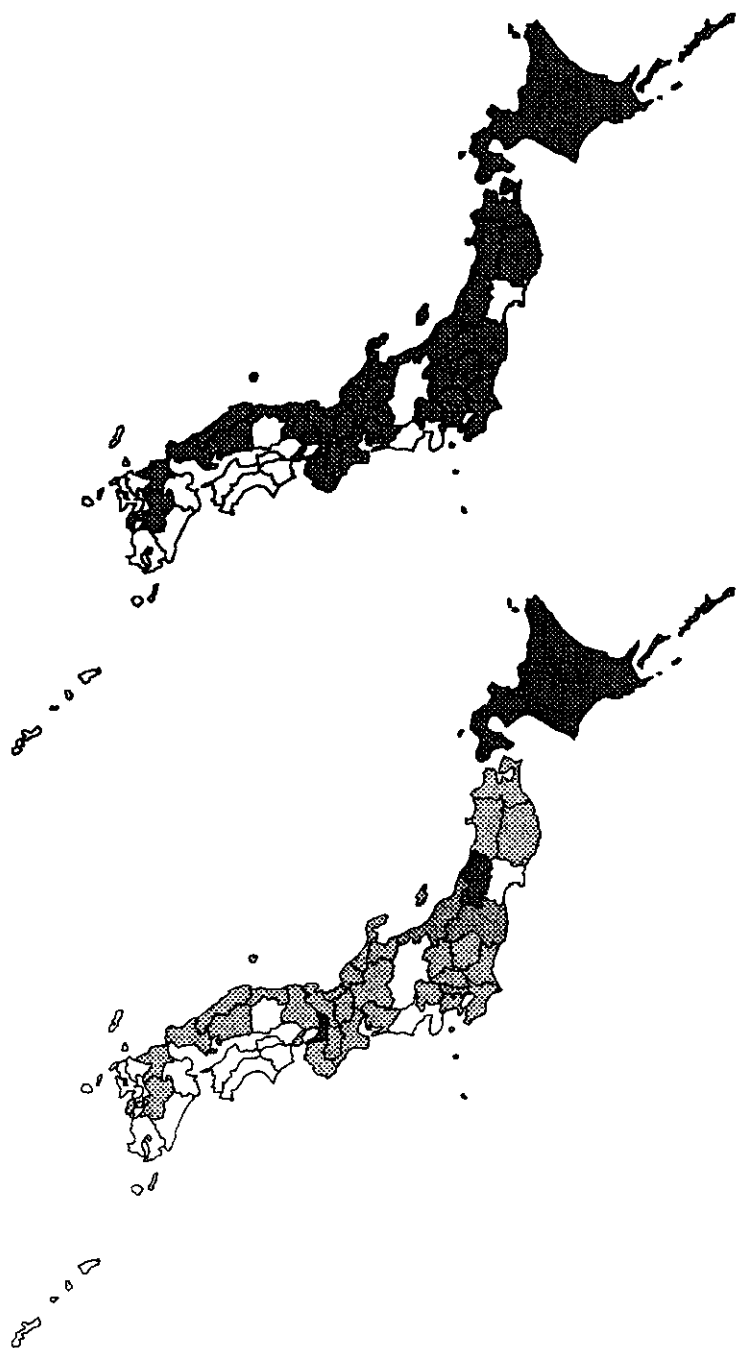
なお、掲載のない月は、患者の発生がないことを意味する。



平成8年10月
患者発生状況(上図)と患者数(下図)



平成8年11月
患者発生状況(上図)と患者数(下図)



平成8年12月
患者発生状況(上図)と患者数(下図)